

新年の抱負

—サービス産業の活性化と生産性向上を—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 明けましておめでとうございます。開倫塾塾長の林明夫です。今年も、年初から「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。皆さんは、どのように新年を迎えられたでしょうか。今年もどうか素晴らしい1年が展開なされることを、心からお祈り申し上げます。
2. さて、今日は1月2日ですので、今年の抱負を皆さんと共に考えたいと思います。今年、安倍首相が子供の貧困の撲滅、それから貧困対策もやるというので、私も子供の貧困対策や教育機会をもっともっと増やす取り組みを考えて、やるべきことは行いたいと思います。安倍首相は、希望を生み出す強い経済・夢を紡ぐ子育て支援・安全につながる社会保障という形で、一所懸命に3本の矢を放つことを宣言しています。ですから、我々も自分でできることは少なくとも2つか3つぐらいはやりたいと考えます。そこで、私も子供の貧困対策、教育機会の拡充に向けていろいろなことをしたいなあと思います。
3. これらに加え、私にはあと1つ、ぜひ心掛けたいと思うことがあります。次にそれをお話します。この放送をお聴きの皆さんの中には、受験生の皆さんはもちろん仕事をなさっている方もたくさんいらっしゃると思います。仕事をなさっている方の中の約7割～8割は、サービス産業の方々だと思います。また、国内総生産(GDP)の約7割～8割、雇用者数(働く人)の7割～8割以上を占めているのは、サービス産業です。
4. ただ、製造業に比べると、私共の教育サービスを含めてサービス産業はかなり生産性が低いです。そのために、赤字が出て赤字企業になったり、なかなか利益が出なかったりします。また、言いにくい話ですが、製造業と比べてお給料も高くないという方がたくさんいらっしゃって、生活するのに困っている方がいるようです。

会社は、黒字が出ると、経常利益の半分は法人税として納税します。それは素晴らしいことだと思います。しかし、赤字が出ると、会社として法人税の納税ができません。そのようなことも税収がなかなか増えない原因の1つであると思いますので、企業としてできるだけ働いている人の待遇をよくして国に税金を払ったり、よいサービスをするためには、サービス産業の生産性を向上させることが大事だと思います。
5. 私たちも栃木県の経済界の一翼を担っていますので、栃木県の経済界でもサービス産業の活性化と生産性向上に向けて本格的な議論をスタートさせたいですね。そして、サービス産業の活性

化と生産性向上を、産業政策の大切な一本として、みんなで議論していきたいと思います。私共の開倫塾も、できるだけ生産性を上げながら、子供たちに学力をつけたり、地域の教育力を向上させたりすることに励みたいと思います。生産性が向上しないと、先生方にいろいろな面で十分に酬いることができませんし、新しい設備を整えることもできません。また、企業として税金をしっかりとお払いすることができませんので、少しでも生産性を向上させてよいサービスを提供し、社員の皆さんへの待遇を改善し、地域社会に対して税金という形で貢献させていただきたいなと思っています。

6. このように、これから先はサービス産業の活性化と生産性向上が大切です。よく考えれば、サービス産業には追い風がいっぱい吹いていると思います。例えばグローバル化の進展です。物価が安く、ホテルも安い上にサービスがよいのが日本です。また、人々も親切で、英語によるアプリなどもたくさんあり、英語を話す方も増えて店員さんなどは一生懸命やってくれています。日本はこれだけ素晴らしい国であるため、訪日する方が昨年は1900万人を超えました。2016年の今年はおそらく3000万人を突破すると思われます。ですから、観光業や小売業の方には、訪日する方のためのサービス産業を活性化させていただきたいと思います。
7. これからは、栃木県内のサービス産業でも、海外に展開していく方がどんどん増えていくと思います。外国では日本の飲食店、特に和食が人気です。これは素晴らしいことだと思います。放送をお聴きの皆さんの中には群馬県、茨城県、埼玉県にお住まいの方もいらっしゃると思いますので、栃木・群馬・茨城の北関東と埼玉の飲食店の方々、フードサービスの方々も海外に打って出て、北関東や埼玉の食の素晴らしさを広めていただくと素晴らしいと思います。
8. では、我々学習塾の教育サービスに限らず、介護・医療などのいろいろなサービス産業の生産性をもっともっと上げるためにはどうしたらよいか。今、IoT ということばをよく耳にします。サービス産業も、製造業に負けずにコンピュータを使ったり、いろいろなセンサーを様々なものにつけたりして、もっともっと心地よいサービスが受けられるようにするにはどうしたらよいかなど、デザインや全体像をよく考えた上で、いろいろなことをやっていくのも大事ではないかと思っています。
9. 例えば、我々の住む栃木、群馬、茨城、埼玉は、日本でも有数の製造業が盛んな地域です。この地域の製造業は非常に生産性が高く、海外展開も非常に盛んです。ですから、製造業の方から学ばせていただいて、サービス産業ももっともっと生産性を上げ、活性化したいと思います。また、製造業においてもサービス事業化によるサービス開発ということ、AI や IoT などを活用して、イノベーションの促進に役立terるといふこともあります。つまり、製造業の方々も、サービスを事業化してサービス開発をすると、製造業ももっともっと活発になりますので、製造業とサービス業がタッグを組んでやっていったら素晴らしいと思います。私は、今年はそのような1年になったらいいなと思います。皆さんもぜひ、自分なりに今年1年をどうするか考えていただければと思います。今年もよろしくお願ひいたします。